

第 73 回 BMIRC 研究会 (情報工学実践セミナーI~IV認定対象)

真核生物の翻訳制御における塩基配列

モチーフの役割

浅野 桂

カンザス州立大学生物学科教授

網羅的解析技術の進歩により、真核生物が様々な刺激に
応答して mRNA の翻訳パターンを調節していることが
明らかになってきた。酵母のアミノ酸飢餓応答を例に、
上流読み取り枠 (uORF) や特異的な塩基配列モチーフを
持つ mRNA が選択的に翻訳されるメカニズムについて考
察したい。

日時：6月27日(木) 5時間目 (16:20-17:50)

場所：飯塚キャンパス 大学院セミナー室 N712

問い合わせ先：倉田博之